

広報

オオサカ

朝日に映える大洲の雲海

2020

1

No.180

あ い さ つ

復興2年の初春を迎えて

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素より市政の各分野にわたり、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、改元により新しい「令和」の時代が始まりました。この元号には、「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができるように」との願いが込められています。

大洲市では、この元号の由来を胸に刻み、令和元年を復興元年と位置付けて、西日本豪雨災害からの早期復興を第一に復旧・復興事業に取り組んだ一年でありました。

全国各地からのご支援と市民の皆様懸命なご努力のおかげにより、少しずつまちの賑わいを取り戻すことができておりますことに、心から感謝を申し上げます。しかしながら、災害の爪痕は様々な形で色濃く残っており、今後も市民生活の再生と経済・産業の

再生に向けて復興の歩みをさらに加速していく所存でございます。

肱川の治水対策では、鹿野川ダム改造事業が完成してトンネル洪水吐の運用が開始され、肱川緊急治水対策による築堤や堤防の嵩上げ工事も進んでいます。肱川水系河川整備計画の変更手続きも実施していたいただき、再度災害防止対策と肱川の治水安全度向上を目指した取り組みが促進されました。

一方で、昨年10月の台風19号では、中部・関東甲信越・北陸・東北地方の広範囲にわたって河川の氾濫や堤防決壊による甚大な浸水被害が報告されています。近年は、毎年のように記録的豪雨が発生しており、もはや異常気象ではなく、常態化しているのではないかと感じております。このような気候変動に対応するために、国全体で一層の防災・減災対策を講じていかなければならないと考えております。今年度は、東京オリンピック・パラリンピックの開催により、世界から日本が注目されるとともに、多くの外国人が日本を

訪れる年となります。観光案内所やトイレ、案内人やおもてなしをする人材など、受け入れ体制を整えるとともに、町家や古民家等の再生など、本市の魅力をさらに高め、肱川流域の豊かな自然や長浜大橋、臥龍山荘、如法寺、大洲城などの文化財と市内の素晴らしい産品の価値を広く発信する年にしなければなりません。

そして、令和の時代を担う子供たちに、薫り高い文化や歴史、美しい自然を引き継ぎ、若者たちが希望をもって、それぞれの花を大きく咲かせることができる、夢を叶えることができる地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。災害に強く、安心して定住できる、移住先や来訪先としても選んでいただける大洲市を目指して復興の歩みを進めます。今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年一年が災害のない平穏な年となり、市民の皆様にとりまして幸多い年となりますよう心から祈念申し上げます。頭のごあいさつといたします。

大洲市長

ひさ 久
たか 隆
二 宮



NEXT きらめき★

大洲市立大洲小学校（左から）

植木 秋 さん 菊地 優 弥 さん
堀 虎太郎 さん 木戸 海 さん

愛媛県小学校陸上運動記録会 男子400mリレー 1位



大洲小学校6年の4人は、11月11日(月)に、県総合運動公園ニンジンニアスタジアムで開催された第32回愛媛県小学校陸上運動記録会に出場し、男子400mリレーで優勝しました。

リレーメンバーの主将を務めた菊地さんは「自己ベストを更新し、4人で優勝できて、うれしかったです。しかし、目標にしていた51秒台と県記録まで届かなかったことは、少し悔しかったです」と大会を振り返りました。

第3走者の植木さんは「市大会では、たくさん課題が見つかりました。県大会までの約3週間に、4人で話し合って練習しました」と練習の様子を語りました。

第1走者の堀さん、「市大会では第3走者でしたが、戦略として第1走者に変更しました。フライングに気を付け、スタートの練習に取り組みました」と話します。

アンカーの木戸さん、「先に出場した60m走が2位に終わったので、絶対優勝するつもりでリレーに臨みました。陸上の練習は苦しいときもありましたが、みんなと一緒に練習できて楽しかったです」と笑顔で話していました。

1月の納税など 納期限は1月31日(金)です。

税 別	1月	2月	3月	4月
市 県 民 税	4期			
固 定 資 産 税		4期		1期
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	7期	8期	9期	

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。
今年度から市県民税と固定資産税が4期納付になります。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人 口	42,747人 (- 38)	件 数 58件(80件)
男	20,420人 (- 8)	死 者 0人(0人)
女	22,327人 (- 30)	負 傷 者 64人(105人)
世帯数	19,852世帯(- 13)	

(2019年11月末現在)

CONTENTS 目次

- 2 ページ～ 新年のごあいさつ
- 4 ページ NEXTきらめき・今月の表紙
- 5 ページ～ (特集)大洲のええモン 全国に向けて
- 8 ページ～ おおずニュース
- 11 ページ シリーズ
- 12 ページ～ おしらせピックアップ
- 22 ページ～ 情報ひろば
- 24 ページ～ 集まれ0級若モン・図書館
- 26 ページ～ 保健センター・各種相談ガイド
- 28 ページ がんばるひと
(和太鼓ユニットみゆう)

今月の表紙



第26回雲海まつりが、11月17日(日)、柳沢の藤縄地区にある雲海展望公園で開催されました。

雲海は、一定の条件がそろった冬の時期にしか見られない自然現象で、いつでも発生するものではありません。

撮影：宇高将志さん

【特集】 大洲のええモン 全国に向けて

～バイヤー招へい商談会・日本三大芋煮まつり～

大洲市には、大洲ええモンセレクションをはじめとする特産品が数多くあります。このような特産品の認知度を高め、流通拡大と地域産業の活性化を図るために、大洲市ではさまざまなPR活動を実施しています。

今回は、大洲から全国に向けたPR活動を2つ紹介します。

問い合わせ先

商工産業課営業戦略係 ☎24-1722

販路開拓を目指して

バイヤー招へい商談会



「大洲のええモン」を全国のバイヤーに売り込む商談会が、11月27日(水)、大洲商工会議所で開催されました。大洲ええモンセレクション認定事業者や、6次産業化事業者など市内の11事業者が参加し、首都圏などから招待された卸売り業者や高級食料品スーパーマーケットなど7社のバイヤーと商談しました。事業者は、大洲の風



土で生まれた商品の特長や魅力などを、試食なども交えて、熱心にアピールしました。

この商談会は、大洲ブランド魅力創出事業の一環であり、今回で4回目の開催です。今後も、事業者、バイヤー、生産者など、お互いが「ハッピー」になる取り組みを進めます。



初参加の(有)長浜木履工場。スポーツ選手が練習で使う一本歯げたなどの商品をアピール。



(株)サンフーズ。新商品のご当地カレー「いもたきカレー」などを売り込みました。

【商談会に参加した事業者】
(有)大石フーズ、大洲市森林組合、(株)梶田商店、河辺の未来を考える会、(株)サンフーズ、(有)玉井民友商店、(有)富永松栄堂、(有)長浜木履工場、熱炎、ひらのや製造本舗、ぷらいまりい (五十音順)

日本三大芋煮

大集合

日本三大芋煮まつりが、11月17日(日)、東京都文京区で開催されました。まつりには、愛媛県大洲市・山形県中山町・島根県津和野町の3市町が集結し、それぞれの地域で作られる「いもたき」「芋棒煮」「芋煮」を販売しました。まつりの会場である文京区は津和野町と交流都市の連携があり、昨年引き続き開催されました。

また、各市町の特産品販売や伝統芸能の披露も行われ、首都圏に



二宮市長によるいもたきの手渡し

3市町の魅力をPRしました。大洲市から二宮市長、津和野町から下森博之町長が会場に駆けつけ、来場者にいもたきを手渡しするなど、地域がいもたきの魅力をアピールしました。

日本三大芋煮とは

交通新聞社が発行する「旅の手帖」に、愛媛県大洲市・山形県中山町・島根県津和野町の3つのいもたき・芋煮が「日本三大芋煮」として紹介されたことをきっかけに、平成26年度から3市町で連携し、芋煮や地域の魅力を伝える事業に取り組んでいます。

日本三大芋煮
ロゴマーク



日本三大芋煮
フェイスブック



ところ変われば芋煮も変わる



いもたき (愛媛県大洲市)

粘り気の強い里芋を中心に、油揚げ・鶏肉・乾しいたけ・こんにゃくなどを入れ煮込んだ、醤油ベースの甘めの味です。



芋煮 (島根県津和野町)

焼いた鯛と、火山灰地で育った細やかな里芋だけのシンプルなまし仕立て。最後に添える柚子が一層風味を豊かにします。地酒との相性は抜群です。



芋棒煮 (山形県中山町)

「棒ダラ」を醤油ベースで煮込んだ「芋煮会発祥の地」の芋煮。江戸時代、最上川の船着き場で棒ダラと里芋を一緒に煮て食べていた光景が芋煮会の始まりといわれています。



津和野町

石見神楽東京社中の2人による、伝統芸能「石見神楽(演舞名:恵比須)」を、しの笛の生演奏とともに披露しました。



中山町

文京区花笠音頭愛好会のみなさんによる山形の伝統的な踊り「花笠音頭」を披露しました。



大洲市

大洲藩鉄砲隊の甲冑を着用し、鉄砲隊や主馬神伝流をPRしました。主馬神伝流保存会甲冑着用体験や木製火縄銃輪ゴム鉄砲ゲームも行いました。



3市町の芋煮を食べ比べ。いもたきは、特に子どもに人気でした。



二宮市長 下森津和野町長

スタッフ全員で割烹着を着用し、来場者をもてなしました。



天候に恵まれ、秋晴れの下、多くの来場者が集まりました。

さらに文京区内で

大洲のいもたきをPR

文京区民や、文京区内の小学校の栄養士を対象に、日本三大芋煮の料理教室を実施しました。3市町の芋煮を調理・試食したり、3市町の芋煮の歴史や風土などを伝えたりしました。

文京区立金富小学校では、大洲産のサトイモを使った「いもたき」をはじめ、大洲産の栗・しめとうふ・梨を使用した学校給食が提供されました。二宮市長も学校を訪問し、大洲のいもたきをPRしました。



料理教室には多数の親子も参加

また、文京区内の企業や団体が集まり、展示・物販などを行う文京博覧会が11月15日(金)、16日(土)に文京区役所地下2階で開催され、大洲市は中山町と共同で初出展しました。日本三大芋煮食べ比べセットや大洲市の特産品などを販売しました。



文京博覧会で出展したブース



金富小学校に出された給食